

2020年4月1日  
発行/日本共産党市議団地域版  
自宅/市川市須和田2-12-3  
fax 047-705-6018  
携帯 090-6310-3294  
メールアドレス  
shimizu@jcp-ichikawa.com  
Twitter:清水みな子を検索



日本共産党市川市議会議員

# 清水みな子

あおぞらメール No.127

# 2月議会で予算に反対 階段の建設や個人情報提供など

新型コロナ対策の関係で2月議会では、一般質問を中止し、閉会しました。共産党と無所属の会は、議員の権利として行うべきだと主張しました。私と廣田議員は代表質問を行い、各常任委員会に出席し、議案の採決と請願の採択を3月10日に行いました。そのなかで、見過ごすことのできない予算に反対し、議案3件について反対討論を行いました。

## 代表質問の項目

▼新庁舎の「企業活動のネットワークが広がる場」とは何か

市庁舎1階の東側に設置する予定のスペースで、起業家の交流と企業のアイデアの創出などのネットワークが広がる場となる。1階の金融機関とも連携をはかり、様々な相談に対応する環境を整えていく。

【市役所に企業活動のネットワークが広がる場が必要でしょうか】

▼児童虐待防止について、虐待対策担当室を廃止するのはなぜか

児童虐待担当室の業務を含めて「拠点」の機能を果たす「こども家庭支援課」を新たに新設し、虐待防止対策強化に向けた体制を整備する。



1階 全体図  
右側（国道側）に市民活動と企業活動の広場を設ける

【昨年の担当室設置により、1・6倍の相談件数となった。児童虐待対策には専門の知識が必要、独自の体制強化を求める】

▼教育環境の整備——県費講師不足による教職員

の未配置の現状と対応

1月末現在、未配置数は10名となっている。内訳は、欠員補充に伴う代替2名、産前産後休暇と育児休業の代替3名、療

## 新型コロナ対策で共同の申し入れ

新型コロナ感染症の患者が多数発生した件で、2月26日、無所属の会と日本共産党は共同で、村越市長と中山議長に「新型コロナウイルス感染症の対策強化を求める」申し入れを行い、議会の延期を申し入れました。反対する会派が多く、議会は予定通り始まりました。

さらに、感染者が拡大するなかで、3月2日、議員の決議をあげようと呼びかけました。多岐にわたる項目を提案しましたが、議会では数項目の決議が採択されました。私たちは「対策強化を求める有志議員の会」を作り村越市長と田中教育長に「経済的困窮者と、個人事業主や中小企業等への支援」を盛り込んだ申し入れを行いました。

さらに、一斉休校や公共施設の閉館などにより、子どもの居場所確保が必要であると、3月25日、公共施設の利用や校庭の開放など申し入れました。

養休暇と休職の代替に5名。教育委員会は、再任用者の活用と、市の予算で、補助教員を約1・5倍にするなどの人的補充を図っている。

【引き続き、教員の未配置問題の解決と、教員の變形労働制を適用しないことを要望する】

▼非識別加工情報提供事業について——個人情報提供が集中する自治体が情報を加工して企業に提供

1件の契約があった。介護サービス利用者に関する情報は「介護保険」「健康管理」「国保」「市民税」の4システムについて、介護利用者1万3千人の過去5年間の情報を加工して提供する。【安倍政権が成立をめざすスーパーシティ法案は財界もすすめており、A1やビッグデータなど最先端技術を活用するもので、それをめざしている市長。市川にスーパーシティが必要でしょうか】

# 地域でハンドマイク 宣伝

コロナ問題で訪問対話



3月23日午後、肌寒い天気でしたが、元気な姿を示そうと、地域でハンドマイク宣伝を行いました。国会では小池晃参議院議員が、コロナ問題や森友公文書改ざん問題を取り上げていました。

ハンドマイク宣伝をしながら、周辺には、「コロナ対策調査表」と「共産党のコロナ対策」のチラシを配布しました。

この間、地域では、コロナの影響などを聞きながら訪問活動を行っています。「公民館でサークル活動ができなくて困っている」「マスクがないので、外に出られない」「小学校の校庭を開放してほしい」など要望が寄せられています。

▼高齢者と障がい者へのゴミ出し支援はどのような方法で行うのか  
自らゴミ出しが困難な高齢者と障がい者を対象に戸別収集を行う。収集日は月曜日から金曜日のうち1日で、出されたすべてのゴミを収集する(分別は各自がこなす)。  
【ゴミが出していない場合は、委託業者が声かけし、応答がない場合は市で安否確認を行う。】  
【ゴミ出しの負担軽減と安否確認を行い、孤独死を防ぐことができる。希望者の増加が予想され、事業の継続・拡大を要望する】

▼自殺対策の相談業務の委託内容はどのようなものか  
民間に委託することで、3月5日24時間電話で相談対応でき、面接、相談の機会が増える。専門の職種の方が相談を受けるので、適切な医療機関などへつなげていくことができる。  
【市内でのスムーズな連携を要望する。アンケートで、市に相談窓口があることを知らない市民が7割〜8割いることがわかった。悩みやストレスを抱えて苦しんでいる市民が、悩みを打ち明けられ、解決するまで寄り添

▼いきいき健康教室の進め方について  
4月から月1回開催となる「介護予防いきいき健康教室」は、高齢者の筋力維持などには月1回では足りないことがわかっていて、住民が主体となつてすすめる「みんな体操」をさらに普及していく方針である。  
【利用者の意見を聞き、「みんな体操」に頼るだけでなく、市の責任で推進することを要望する】

▼防災・減災対策―避難所の環境向上と、夜間の防災訓練について  
新年度の予算で、避難所でのプライベートルームや避難所用衛生用品を準備する。体育館などのトイレの改修も行う。避難所生活が長期化する場合に備えて、レトルト食品やフリーズドライ食品を購入し、温かい食事が提供できるように備蓄品の充実をはかる。自治会にもお願いして夜間訓練は実施したい。また、職員への訓練も実施する方向ですすめたい。  
【災害はいつ起きるかわかりません。一度でも夜間訓練を行っていれば、いざという時に役に立ちます。これは、岡山県総社市の市民部長さんの講演から学びました】

## 無料法律相談

◎5月12日(火)  
担当 高橋高子弁護士  
◎6月 9日(火)  
担当 守川幸男弁護士  
午後2時から5時まで  
相談時間はひとり30分。  
予約は清水又は控室まで

## 【議案の採決】 共産党が反対したもの

- ◎市川市行政組織条例の一部改正について
- ◎市川市自治会等を応援する条例の制定について
- ◎令和2年度一般会計予算
- ◎副市長の選任について

## 【請願の採択】

- ◎種苗法改正の取りやめを求める請願 (不採択/共産党、無所属の会、市民の声を届ける会は賛成)
- ◎核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める請願 (不採択/共産党は賛成)
- ◎「男女共同参画」の名称を残すことを求める請願 (不採択/共産党は賛成)
- ◎真間二丁目の手児奈橋公園、真間三丁目の桜土手公園を都市公園として供用の復活を求める請願 (不採択/共産党は賛成、無所属の会は一部賛成)
- ◎新庁舎の当初予定通り7月完成、8月開庁を求める請願 (採択/全会一致)

